

たかね台動物病院通信

Vol. 1 2013.7.1

たかね台動物病院では、新たに病院通信を発行することになりました。病院通信では、様々な病気についての基本的な知識や、ペットや動物に関する話題について、定期的にお伝えしていこうと思います。

今年になって話題となった、マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)など、ペットと人間に関連する病気は数多くあります。また、人間と動物と共通の病気(ズーノーシス)も数多く存在しており、日頃からペットの健康管理も重要となっています。今回は、そんなズーノーシスの代表、「狂犬病」についておさらいしてみましょう。

狂犬病とは

狂犬病ウイルスによって引き起こされる病気で、犬だけでなく、**人を含むほぼ全ての哺乳動物**が感染します。一度症状が出てしまうと、有効な治療はなく、**ほぼ確実に死に至る**恐ろしい病気です。主に感染動物に咬まれることで、唾液中に含まれるウイルスが感染します。人への主な感染源は、犬のほか、コウモリ、アライグマ、キツネなどの野生動物となっています。また、狂犬病ウイルスは**猫にも感染**します。

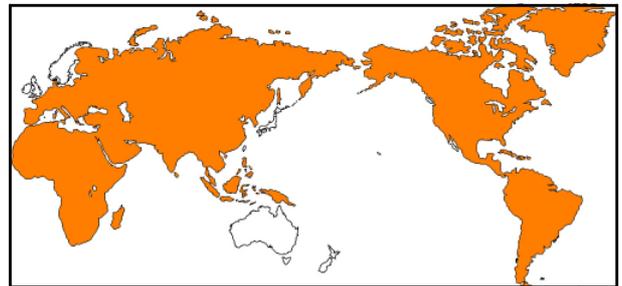
日本では・・・

日本国内では1956年に確認されたのが犬、人ともに最後でした。その後、1970年に1名、2006年に2名の方が、海外(ネパールおよびフィリピン)で狂犬病に感染し帰国後に発症、亡くなっています。

世界では・・・

世界中の**ほとんどの国**で狂犬病が発生しています。現在、狂犬病の発生がない国は、日本と北欧の一部、オーストラリア、ニュージーランドのみとなっています。

年間では、全世界で5万5千人以上が狂犬病で死亡しており、換算すると、**およそ10分に1人**が命を落としている計算になります。



▲狂犬病の発生地域(オレンジ色の地域)(2011年)

日本は常に狂犬病の危険に！

日本では、狂犬病予防法という法律により、犬へ狂犬病予防接種を行うことが義務づけられています。

しかし、近年、犬の狂犬病予防注射の接種率が減少しており、また、全国の港湾などで、海外船舶からの犬の不法上陸なども問題となっており、いつ狂犬病が日本で発生してもおかしくない状況となっています。

こうした状況から、愛犬を守るためだけでなく、人々の命を守るためにも、狂犬病予防注射を必ず受けましょう！

<参考資料>

厚生労働省ホームページ URL <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/>



当院に多く寄せられる相談にお応えしました！

●愛犬・愛猫の口臭が・・・

ペットの口臭に関するご相談を最近よくお受けします。そんな中、新たに口臭を軽減する効果のあるサプリメントが発売となりました。詳しくは獣医師までお気軽にどうぞ！

●被毛の涙やけ、何とかありませんか？

眼に異常がないのにもかかわらず、眼の周囲の被毛が茶色く・・・。そんな涙やけを除去、予防するクリーナーをご用意しました。詳しくは、獣医師まで。

